



GATAN



Technical Webinar

EBSD 用試料作製のためのブロードアルゴンビームツール

開催日: 2021 年 2 月 25 日(木)

時刻: 10:00 - 11:00 (JST)

電子線後方散乱回折 (EBSD)法 は、SEM における材料組織解析において必須の手法です。EBSD 法では結晶方位分布、結晶粒径分布、集合組織、結晶系に基づいた相解析といったエネルギー分散型 X 線分析では得ることが出来ない材料組織に関する情報の取得が可能となります。

この EBSD 法に用いられる EBSD パターンは、試料最表面から数十 nm 程度の領域で形成される現象です。このため試料表面の状態に非常に敏感で、その試料作製は必ずしも容易ではないとされてきました。最も一般的な機械研磨法では、試料作製者の技量に大きく依存したり、また亜鉛などの柔らかい金属や多孔質材料、特性の大きく異なる相からなる多相材料などでは、そもそも機械研磨で良好な試料を作製すること自体が困難である場合も多々生じています。

ブロードアルゴンビームツールは、これらの試料作製上の問題を大きく改善することが可能です。本ウェビナーでは、Gatan 社製 PECS II による試料作製法と EDAX OIM/EBSD 法による優れた観察結果をご紹介します。Gatan のブロードアルゴンビームツールによって、機械研磨による試料作製では不可能であった EBSD 測定が実現されます。

講演者

佐伯 哲平 (アメテック株式会社 ガタン事業部)

川畑 正伸 (アメテック株式会社 エダックス事業部)

本 Webinar に参加を希望される方は、初めに下記のリンクより登録をお願い致します。ご登録いただいたメールアドレスに、本 Webinar に参加頂くための接続方法の確認メッセージをお送りいたします。

本 Webinar にご参加頂けない場合でも、ご登録頂いた方にはプレゼンテーションスライドと音声の動画ファイルをご覧頂くためのリンクをセミナー後お送りいたします。

ご登録、ご参加をお待ちしております。

<https://attendeegotowebinar.com/register/8181466434861045774>